

市政に関する一般質問

3月定例会は17名の議員が質問

犬の散歩と社会貢献活動等について

中村 潤一 議員

市内の犬の登録件数及びふん書の現状について伺います。

登録件数は、平成29年度5千723頭、28年度5千677頭、27年度5千663頭です。また、犬のふん害については年間50件程度の意見が寄せられ、狂犬病予防接種会場などで啓発物資や注意喚起看板の配布を行い、飼い主のマナー向上に努めています。

万んわんパトロールについて伺います。

千葉県警と千葉獣医師会の連携事業として昨年6月より開始した事業で、飼い主の協力を得て児童の登下校の時間帯に合わせて犬の散歩を通路等でしていただく、気軽に出来るパトロール活動です。飼い主と犬には、隊員証

子ども・子育て支援の施策について

矢崎 悟 議員

児童虐待の事件が、連日報道されており、野田市のよゆうな事件が繰り返されないよう、本市においても関係機関の連携強化や相談体制の強化に一層、取り組むべきです。

昨年、国が発表した児童虐待防止対策体制総合強化プラン

には、市区町村における、子ども家庭総合支援拠点の設置が示されていますが、今後の取り組みを伺います。

虐待対応専門員等の配置など、既存の家庭児童相談室の機能を拡充し、平成32年度の設置を検討しています。

都市計画マスタープランについて

泉川 洋二 議員

都市計画マスタープランは鎌ヶ谷市の将来像を決定するプランですが、用途地域の変更、見直しなどについての見解を伺います。

用途地域は、地域の土地利用の現状と動向、道路等の公共施設の整備状況、住環境への影響、隣接する用途地域との整合などを総合的に勘案し、定めることとされており、本市においては、新鎌ヶ谷駅周辺地区特定土地区画整理事業などの市街地整備事業の進

の交付や犬の健康診断費用の一部助成などがあります。

飼い主の健康増進やコミュニケーションづくりへの効果について伺います。

愛犬との散歩が飼い主の健康増進やリフレッシュはもとより、地域の防犯力の強化につながります。また、ペットが地域と人をつなげる地域コミュニケーションづくりにより大きな効果が期待できると考えます。



東部地区は、子どもの数が多い地域であり、児童センターの設置を求めるとの意見を多く伺います。設置に向けたスケジュールを伺います。

平成31年度に建設用地を決定した上で、不動産鑑定及び用地測量を、平成32年度に用地購入、基本設計を行い、平成33年度以降、2年程度をかけて、実施設計、整備工事などを実施する予定です。

障がい者の雇用について

針貝 和幸 議員

障がい者枠の採用試験の実施状況について伺います。

昭和57年度、62年度、平成元年度、3年度、9年度に採用試験を実施しており、今年度は平成9年度以来の採用試験を実施しました。

20年間採用試験を行わずに在職職員の手帳取得者を繰り入れることは障害者雇用促進法の趣旨に反していないのか、見解を伺います。

障がい者雇用率の算定は、障害者手帳の取得年月日に影響されないことから、在職中の手帳取得者もその対象として



合理的配慮はなされずか。現在そのような事例はありませんが、職員からそのような状況との申し出があった場合、必要となる合理的配慮がなされるべきものと考えています。

市庁舎等の利活用について

森谷 宏 議員

市庁舎駐車場の駐車台数を確保するために立体駐車場を整備も考えられますが、見解を伺います。

市庁舎等の限られた敷地の中で、駐車場を確保する手段として立体駐車場を整備することが一つの方法であると考えています。しかし、整備には多額の経費が必要となりますので、高架下の一部を駐車場として利用できるよう調整するなど、市民の皆様の駐車スペースの確保について検討してまいります。

労働安全衛生規則に基づく執務スペース改善のための総合福祉保健センターのレイアウト変更により、本庁舎地下に研修室が移設しましたが、その状況について伺います。

本庁舎地下の改修は、千葉県福祉のまちづくり条例に



市役所地下1階

児童虐待防止・根絶に向けた取り組みについて

松澤 武人 議員

児童虐待の通告があった場合、実際起こったケースでは、どのように対応しているのか伺います。

まずは保育所や小中学校等の関係機関と連携し、子供の所属機関へ訪問、家庭訪問を実施し、児童の安全確認を

市内小中学校のエアコンの保守点検について

伊藤 仁 議員

小中学校の電気式エアコンの簡易点検は、使用者(学校)が実施すればいいものですが、市はそれを新東美装という会社に年間約500万円ほど払い簡易点検を行ってもらっています。しかもその作業報告書に記載の室外機の製造番

外国人住民の増加に対する共生の取り組みについて

芝田 裕美 議員

本市に登録のある外国人の人数について伺います。

本市の外国人住民は、平成10年82人、30年1千645人と増加傾向です。

外国人住民から市に寄せられている意見等はどのようなものがあるか伺います。

申請書等の日本語表記やごみ出しの際のルールがわか

にぎわいのある鎌ヶ谷市の事業について

原 八郎 議員

幼児教育や保育の無償化により、保育園等に預ける方が増え、待機児童が発生し、保育園や保育士が今以上に不足します。各自自治体で保育士の奪い合いが始まりますが、どう対処するのか伺います。

保育士の確保については、

談所へ送致を行い、対応しています。

児童相談所との連携について伺います。

鎌ヶ谷市児童虐待防止対策等地域協議会の代表者会議を年1回、実務者会議を年4回開催するとともに、必要に応じて関係部署、関係機関との個別支援会議を開催して連携を図っています。

は、仕様書では異常のある場合を除いて義務づけはしておらず、任意で提出された写真です。また、写真のない学校においては、現場で作業が行われたことを確認しました。提出書類に適正でない記載もあり、大変遺憾に存じていますが、保守点検については適正に完了していることを確認しています。

どのような施策に取り組んでいくのか伺います。

主な施策としては、医療、福祉、子育て等の分野での多言語の対応、災害発生時の情報発信や支援の充実、外国人児童生徒の教育等の充実です。



校を誘致する計画を立てることを提案したいと思いますが、見解を伺います。

大学の誘致は非常に夢のある話ですが、巨額の財政負担をして誘致してしまうと、後々市民が困ることになる可能性があります。よく考えて進めていかなくてはならないと思っています。